

「緊急事態宣言でテレビ見る時間増加 全国視聴率調査で判明」

新型コロナウイルス感染拡大の影響でテレビを見る時間が増えたことが、視聴率・聴取率調査会社「ビデオリサーチ」の調査で明らかになった。いつも以上に情報が求められる中でテレビがそれに応えたことを示している、とビデオリサーチはみている。

	札幌	仙台	福島	関東	新潟	静岡	名古屋	関西	岡山・香川	広島	北部九州	2019年同時期比
4月	108.7	109.0	116.3	119.2	111.9	115.0	113.5	115.5	107.2	106.7	114.5	100~105%未満
5月	108.9	106.5	112.8	114.3	109.5	111.6	110.2	109.6	103.4	102.6	109.3	105~110%未満
												110~115%未満
												115%以上

テレビ総世帯視聴率の変化（月平均6～24時 2019年同月比、ビデオリサーチプレスリリースから）

16日公表されたビデオリサーチの調査は、全国47都道府県の6,500人を対象にインターネットを利用した手法で5月20、21日に実施された。新型コロナウイルス感染拡大により東京都をはじめとする7都府県に緊急事態宣言が発令されたのが4月7日。同17日に47都道府県すべてに対象地域が拡大された。調査の目的は、テレビ視聴状況から生活者の生活動向がどのように変化したかをみること。調査対象者は、全国32の放送エリアの性・年代構成を人口構成に合わせて小学1年生～69歳から選ばれた。

調査の結果、4月、5月の総個人視聴率、総世帯視聴率は、いずれも各地区そろって昨年同月を上回っている。特に感染者が多く、ほとんどの都府県が長期間にわたり外出自粛を要請された関東地域（1都6県）の総世帯視聴率が前年同月比で119.2%（4月）、114.3%（5月）と最も大きいのが目を引く。一方、緊急事態宣言が39県で解除され、さらに全国で解除されるに伴い、視聴時間が前年の同時期と近い日が徐々に増えていることも分かった。

(%)

	見たい番組がなくても テレビをつける	今まで見たことがなかつ た番組を見る	家族と一緒にテレビを 見る	地域の情報を知るた めにテレビを見る	過去に録りためたテレ ビ番組を見る
北海道	27.0	16.0	17.3	20.3	18.3
青森	27.0	14.0	13.0	18.0	18.0
岩手	31.0	8.0	12.0	12.0	23.0
宮城	29.0	6.0	13.0	18.0	16.0
秋田	22.0	14.0	18.0	18.0	19.0
山形	32.0	15.0	16.0	13.0	18.0
福島	32.0	10.0	14.0	18.0	14.0
関東1都6県	30.6	17.6	19.9	9.0	18.5
新潟	27.0	19.0	16.0	19.0	16.0
富山	51.0	19.0	19.0	23.0	25.0
金沢	32.0	15.0	19.0	9.0	15.0
福井	29.0	15.0	13.0	20.0	19.0
山梨	24.0	12.0	21.0	16.0	12.0
長野	31.0	15.0	24.0	19.0	17.0
静岡	32.0	16.0	12.0	13.0	12.0
中京3県	32.8	15.0	18.2	14.4	17.2
関西2府4県	31.0	16.7	18.2	13.2	15.6
鳥取・島根	26.0	14.0	14.0	10.0	13.0
岡山・香川	32.0	20.0	12.0	9.0	16.0
広島	35.0	21.0	10.0	7.0	14.0
山口	40.0	13.0	19.0	15.0	22.0
徳島	37.0	18.0	14.0	16.0	24.0
愛媛	30.0	9.0	13.0	18.0	19.0
高知	39.0	20.0	15.0	21.0	21.0
福岡	31.5	17.1	16.4	14.2	18.4
佐賀	34.0	15.0	18.0	18.0	26.0
長崎	31.0	12.0	14.0	17.0	13.0
熊本	31.0	18.0	18.0	14.0	17.0
大分	31.0	19.0	17.0	16.0	21.0
宮崎	39.0	14.0	20.0	15.0	19.0
鹿児島	36.0	14.0	17.0	15.0	15.0
沖縄	35.0	17.0	23.0	21.0	18.0

テレビの見方の変化（ビデオリサーチプレスリリースから）

調査は、新型コロナウイルス感染拡大による生活の変化が、テレビの見方にどのような影響を及ぼしたかについても調べている。「見たい番組がなくてもテレビをつける」が30%を超す地域が大半。「家族と一緒に見る」もすべての地域で10%以上だった。「在宅時間が増えたことから、生活習慣としてテレビをつける、家族がテレビの前に集まる、といったテレビの本質が再評価された期間ともいえる」とビデオリサーチはみている。「今まで見たことがなかった番組を見る」も10%を超す地域がほとんどだったことから「単に視聴量が増加しただけでなく、ステイホーム中に新たな発見のあった人も一定数いた」との見方も示している。

	ふだんと変わらずに 仕事をしている		在宅勤務をするように なった・増えた		仕事が 減った・なくなった	
	4月13日(月)~ 4月19日(日)	5月18日(月)~	4月13日(月)~ 4月19日(日)	5月18日(月)~	4月13日(月)~ 4月19日(日)	5月18日(月)~
北海道	54.8	54.3	10.9	13.1	16.3	14.5
青森	62.5	65.0	5.0	5.0	16.3	16.3
岩手	65.2	66.7	6.1	4.5	16.7	13.6
宮城	58.2	57.0	11.4	13.9	15.2	15.2
秋田	72.9	67.1	2.9	5.7	12.9	14.3
山形	59.5	58.3	4.8	3.6	15.5	13.1
福島	60.9	60.9	11.6	11.6	15.9	20.3
関東1都6県	39.2	33.8	26.6	30.5	15.0	16.5
新潟	64.4	61.6	11.0	13.7	6.8	6.8
富山	73.2	63.4	7.0	14.1	8.5	9.9
金沢	50.7	60.6	15.5	12.7	14.1	12.7
福井	61.3	58.7	5.3	5.3	13.3	17.3
山梨	53.2	54.5	10.4	15.6	14.3	15.6
長野	67.1	60.5	7.9	9.2	14.5	15.8
静岡	69.7	56.6	7.9	9.2	3.9	7.9
中京3県	57.7	54.2	11.4	12.5	14.4	14.6
関西2府4県	47.1	45.0	20.6	20.5	15.3	15.3
鳥取・島根	68.6	64.3	8.6	10.0	8.6	8.6
岡山・香川	66.2	56.8	6.8	8.1	17.6	21.6
広島	48.7	48.7	11.5	10.3	19.2	24.4
山口	67.1	59.8	7.3	11.0	14.6	15.9
徳島	63.9	59.7	4.2	4.2	9.7	11.1
愛媛	63.5	55.4	12.2	13.5	16.2	20.3
高知	70.4	70.4	5.6	5.6	12.7	11.3
福岡	52.3	54.8	12.6	12.3	15.7	13.8
佐賀	63.2	67.1	5.3	6.6	15.8	11.8
長崎	62.3	58.0	7.2	7.2	15.9	15.9
熊本	56.4	53.8	12.8	11.5	14.1	12.8
大分	60.9	59.4	6.3	6.3	10.9	12.5
宮崎	74.3	67.6	4.1	4.1	10.8	13.5
鹿児島	67.6	64.7	4.4	4.4	10.3	13.2
沖縄	52.2	55.2	10.4	9.0	14.9	13.4

仕事における変化（ビデオリサーチプレスリリースから）

緊急事態宣言が全国に拡大された4月17日を挟む4月13～19日の週と、39県で緊急事態宣言が解除された5月14日の翌週、5月18日に始まる週で調査対象者たちの仕事かどのように変わったか。新型コロナウイルス感染拡大による生活行動や意識の変化を聞いた調査結果からも興味深い実態が明らかになった。5月18日の週は、まだ緊急事態宣言の対象とされていた都府県を含む関東・関西地域では、ふだん通りに仕事をしている人が少なく、在宅勤務など普段と違う仕事の状況が続いていたことが分かる。特に関東地域（1都6県）の在宅勤務は30.5%と最も高く、2位の関西20.5%も大きく上回る。関東地域は他の地域と比べてテレビ視聴量の増加率も高いという結果を裏付ける形となっている。

このほか関東地域に限った調査結果から、緊急事態宣言がすべての都道府県で解除となった5月25日の週でも、関東1都6県の13～19歳男女と20～49歳の男性のテレビ視聴量は昨年と同じ週に比べ依然120～150%と大きいことも明らかになった。緊急事態宣言が解除されても在宅を強いられている層が依然、存在していたことを示す結果、とビデオリサ

一チはみている。

「学校や職場の状況が通常に戻るにつれ、テレビの視聴のされ方は少しずつ平常時に近くなっていくと考えるが、新型コロナウイルスの影響で、人々の生活は大きく変化し、それがテレビ視聴の動きにも反映された。いつも以上に情報が求められる中でテレビがそれに応え、そしてテレビが生活者の日常とともにある存在であることの表われではないか」。ビデオリサーチは今回の調査結果をこのようにみている。

日文 小岩井忠道（JST 客観日本編集部）

関連サイト

ビデオリサーチプレスリリース「コロナ禍で変化し続けるテレビ視聴と視聴スタイルー地域比較で見た実態とは」

<https://www.videor.co.jp/press/2020/200616.html>